



三宅村 議会だより

第55号

2025.12.05

写真：三宅村議会行政視察（山口県萩市松陰神社）

目次

令和7年第3回三宅村議会定例会で審議された議案	2
令和7年第3回三宅村議会定例会 議決結果	3
村政を問う（一般質問）	3
議長報告書	11



令和7年第3回三宅村議会定例会
(会期：9月10日)
で審議された議案

議案第1号

三宅村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、部分休業の拡充等の改正です。

議案第2号

三宅村三七山スポーツ公園の設置及び管理運営に関する条例を廃止する条例

施設の老朽化により、三宅村三七山スポーツ公園の設置及び管理運営に関する条例の廃止です。



議案第3号

三宅村簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

三宅村簡易水道事業の計画給水人口及び一日最大給水量の改正です。

議案第4号

令和7年度三宅村一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億7314万5千円を追加し、総額44億7991万円となりました。

職員住宅管理、国勢調査費、宿泊事業者等支援事業、公共土地改良事業、小中学校施設整備補修、国民健康保険(事業勘定)特別会計繰出金、後期高齢者医療特別会計繰出金、簡易水道事業補助金等に伴う増減額補正です。

議案第5号

令和7年度三宅村国民健康保険(事業勘定)特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ323万4千円を追加

し、総額4億3370万1千円となりました。
主な内容は、高額療養費システム改修、子ども・子育て支援金制度システム改修、疾病予防費等に伴う増減額補正です。

議案第6号

令和7年度三宅村国民健康保険(直営診療施設勘定)特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ24万6千円を追加し、総額3億8075万4千円となりました。

主な内容は、診療所・医師住宅・歯科診療所除草作業委託、助産師専門診療業務委託、透析室・操作室エアコン工事等に伴う増減額補正です。

議案第7号

令和7年度三宅村介護保険(保険事業勘定)特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ544万7千円を追加し、総額3億2353万4千円となりました。

主な内容は、高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス、高額医療合算介護予防サービスの予算組替、介護給付費国庫負担金返還金等に伴う増減額補正です。

議案第8号

令和7年度三宅村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ331万9千円を追加し、総額9287万2千円となりました。

主な内容は、一般会計繰入金、医療給付費、葬祭費等に伴う増減額補正です。

議案第9号

令和7年度三宅村簡易水道事業会計補正予算(第2号)

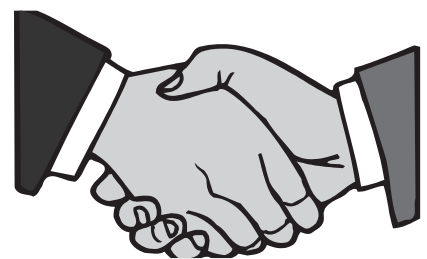
収入、簡易水道事業収益予定額2億3516万円、資本的収入予定額2億5574万円、支出、簡易水道事業費用予定額2億8141万2千円、資本的支出予定額3億553万8千円となりました。

主な内容は、一般会計補助金、漏水等修繕費、茅場浄水場原水槽修繕工事、茅場浄水場高圧ポンプ等交換工事、配水管敷設工事等の増減額補正です。

議案第10号

健康ランド逢ノ浜の湯管理棟解体工事請負契約の締結について

サステナブルアイランド創造事業において、島の象徴と



なる多機能型公園整備事業を実施するため、健康ランド逢ノ浜の湯管理棟解体工事の契約が締結されました。

議案第11号

令和7年度三宅村ふれあい児童公園整備工事請負契約の締結について

児童公園建物新設等工事の契約が締結されました。

認定第1号

令和6年度三宅村公営企業会計決算の認定について

(1)令和6年度三宅村旅客自動車運送事業会計歳入歳出決算

(2)令和6年度三宅村簡易水道事業会計歳入歳出決算

令和6年度三宅村旅客自動車運送事業会計及び令和6年度三宅村簡易水道事業会計の決算を認定しました。

令和7年第3回三宅村議会定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	審議の賛否						議決結果
		北川 博史	高松 秀直	曾我部 宏一	佐久間 正文	沖山 肇	平川 大作	
議案第1号	三宅村職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第2号	三宅村三七山スポーツ公園の設置及び管理運営に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	〳
議案第3号	三宅村簡易水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	〳
議案第4号	令和7年度三宅村一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	〳
議案第5号	令和7年度三宅村国民健康保険（事業勘定）特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〳
議案第6号	令和7年度三宅村国民健康保険（直営診療施設勘定）特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〳
議案第7号	令和7年度三宅村介護保険（保険事業勘定）特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〳
議案第8号	令和7年度三宅村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	〳
議案第9号	令和7年度三宅村簡易水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	〳
議案第10号	健康ランド逢ノ浜の湯管理棟解体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	〳
議案第11号	令和7年度三宅村ふれあい児童公園整備工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	〳
認定第1号	令和6年度三宅村公営企業会計決算の認定について (1)令和6年度三宅村旅客自動車運送事業会計歳入歳出決算 (2)令和6年度三宅村簡易水道事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	認定

※表中の記号： ○…賛成 ×…反対 -…欠席

保育に関する要望が届いています。物価高が続いている今日この頃、保護者の方々から寄せられてる要望もさまざまです。土曜日も働いている保護者の方も多くいます。イベントを子供さんたちは大変喜ばれていたのを記憶しています。この園外イベントの際は夫婦同伴を依頼されているようだが、母子・父子家庭はどうか、対応されているのか。また、大きな島内のイベント（村の祭りなど）の際、

問 みやけ保育園について



平川 大作
議員

村政を問う
5人の議員が一般質問

また、島内のイベントの際、土曜保育ができないかというご質問ですが、そもそも保育園を利用するためには、就労等による保育の必要性の認定を受ける必要があります。例えば、保護者がイベントに参加するといった理由では保育園は利用できません。ただし、現在、保育士の人員不足により土曜保育を休止しているため、昨年度から阿古福祉会館で開始しました一時預かり保育事業について、保育園に在籍している園児でも土曜日のみ利用可能としてお

答 福祉健康課長
土曜の保育はできないか。いろいろ制限がある中で大変だと思いますが、お聞きしたい。
みやけ保育園の園外行事については、園から保護者に参加される方々の名簿等を提出していただいております。園でもさまざまなご家庭のお子さんたちが在園していることは十分認識しておりますので、夫婦同伴を依頼している事実はありません。

写真だと絵なのでちょっと分らないことと、ちよつと入り口のところから離れているので、みんな右往左往しているんですよ、結構。できれば、矢印が何かをつけてもらうなどの工夫をされればいいのかという感じはします。あと、ある程度の説明文がついてればいいのかという感じがしますよね。やっぱり村を預かる行政側の人から、逆の立場で物を考えれば、全然分からない人には分かりやすくしていただくのが行政の立場ではないかと私は思います。ですから、もし、可能であれば、入り口のほうに矢印をつけていただくとか、ある程度の説明文をつけていただければ助かりますが、どうでしょうか。

答 観光産業課長

大路池入り口の鳥型の大型の観光案内板でございますが、看板内には地図を掲示して、看板が設置されている現在の位置、また迷子椎です。また、南側の栈橋、北側の栈橋等を詳細に掲示させていただいているところでございます。しかし、周辺の木等が繁茂して見づらいというお話もいただきましたので、看板周辺の除草等、環境整備を図ってまいりたいと思います。

問 三宅島の宣伝について

私の知り合いの団体から、三宅島をPRしたいのだが、なかなか写真等を貸していただけない。どうしたら貸していただけるのかと相談がありました。私は、そんなことがあるんですかと聞き返しました。あるようです。村民の皆さんも、道の説明をしたり、聞かれた場所の入り口までですが、案内をしている方もいます。それにはまた来ていただければという思いがあります。三宅島を知る方にPRをしていただければ、これほどありがたいことはありません。当然、利用目的の確認、取り決めは前提です。三宅島と交流があるところから写真等の貸出しを要望された場合、可能かどうかお聞きしたい。



答 総務課長

写真等の貸出しでございますが、村が保有する写真につきましては、その利用目的等を確認し、問題がなければ提供しているところでございます。

再

今現在貸し出されているというわけですね。本当に大事なのは、最初の取り決めとか、利用目的、これはもう絶対しておかなきゃいけないことだと思います。後で問題が生じた場合は、なかなか修復改善が難しいので、できる得る限りの譲歩をしていたら、三宅島をPRしていただくよう、今後とも取り組んでいただきたいと思います。よろしいでしょうか。

答 総務課長

取り決め等ということでございます。

村のほうの持っております各種写真等、データ等も含まれますが、そちらについての貸出しにつきましては、当然ルールを決めて使用していただくという形で貸し出しをしているような状況です。当然、村のPRにつながるもの等にありましては、その辺を踏まえた形で貸出しをしておりますので、引き続き対応してまいりたいと考えております。

佐久間正文

議員



問 観光に関する事について

観光には、気象・自然・文化・食事が重要な4条件と言われています。

この4条件について、各具体的な例を挙げ、観光立島として本島に生かし、経済的効果を上げてあげていくのか、考え方を伺います。

答 観光産業課長

気象・自然・文化・食事にしましては、平成28年以内閣官房が主導で策定された明日の日本を支える観光ビジョンにもあるとおり、観光振興に必要な条件として認識しております。

本村におけるこれら4条件の具体的な例ということでございますが、気象といたしましては、海や雄山をバックにした朝焼け、三本岳に沈む夕

日、海に映る月の道や美しい星空が挙げられると思います。自然といたしましては、独特な火山の地形や有数の水質を誇る海水浴場、アカコッコやカンムリウミスズメなどの貴重な野鳥や、近年は陸上からのホエールウォッチングなど、島ならではの生態系が挙げられます。

文化につきましては、過去から続く祭りや島唄、太鼓などの伝統芸能や、流人文化、近年ではアニメやCM、小説等の舞台となったり、プロモーション撮影等の聖地巡礼等も新たなコンテンツとしての活用が期待されます。

食事では、伊豆諸島特産のアシタバやパッションフルーツやレモン等の果実類、新鮮なカツオ、マグロなどが挙げられると思います。

このように、三宅島には個々に素晴らしい観光ツールがあり、その知名度などを活用した観光振興を図っておりますが、さらに効果的な情報発信や個々のツールの創設等に組み合わせたツアーの創設等について、観光協会等の関係機関と協力、検討を進め、経済効果を上げてまいりたいと思います。

再

宿が普通は入っておりますが、大きくはこの4条件と言われています。

「三宅島神事芸能」で、教育委員会から昭和55年に出ている本があります。三宅島の神事伝統のことが詳しく載っております。その中から質問をします。

気候、年間気温17・5℃、気温30℃以上の真夏日は年間9日、最低気温0℃未満の日数が0・7日、冬暖かく夏は涼しい気候の島です。大事な観光のキーワードです。黒潮の影響を受ける三宅島はサンゴの群生、熱帯性の魚類、大型の回遊魚、ウミガメ、色とりどりのウミウシ等、さまざまな生物を観察できるとあります。ところが、サンゴの美しいところは富賀浜にありますが、荒れて白くなっている情報を得ています。調べる必要があると思っております。

ウミガメですが、近年、多く見られたが、去年より減っている印象です。観光として非常に大きな要素ですから、調べる必要があると思えます。ベストシーズンは、梅雨入り前から6月、多くの種類の渡り鳥が島に立ち寄るので、一番いいシーズンとあります。イルカと泳げるシーズンであることが重なっています。海の透明度は黒潮の影響を色深く受けて、一気に透明度が上がって沖繩にはない風景があるとあります。三宅島の気



候、自然を宣伝してもらいたいと思っております。

植物にいききたいと思えます。ハコネコメツツジがあります。もともとは箱根で発見され三宅島では雄山の斜面にスキの陰になって今生えている状況です。箱根ではほとんど絶えてないそうです。重要な珍しいハコネコメツツジを探し、観光の目玉の植物として、自然としての効果を上げていたいただきたいと思えます。ウメバチソウ、これは10月末に雄山付近で咲く、清楚な白い花です。

オオタニワタリ、大路付近には少しあります。大事な三宅島の植物です。

有名なのが大路藻ですが、昭和12年に発見されました。大路の中がどうなっているのか、一度見ていただければと思っております。

もう一つ大事なタマシダが三宅島にあり、日本産のシダは全部で700種類ぐらいです。その中の1割に当たる70種が三宅島に自生していま

す。これも調べていただきたいと思えます。

文化に当たると思いますが、「三宅島神事芸能」の本に三宅島の大きな神社として、富賀神社、御笏神社など書いてあります。御祭神社にお祭りがあり、伊豆の薬師堂で行う神事です。庭の舞、王の舞、剣の舞、鬼火の舞という舞があるそうです。面白いのは、不適切になるかもしれませんが、男根のつくりものを出して裸で剣をつけて祭るお祭りです。なかなかない祭りです。復活してもらえればと思えます。

新滞池の写真が古くなつて変えて大好評です。上がつていくと、全然、新滞池跡が見えない、ぜひ支庁にかけ合つて、お願いしたい。

新鼻新山、入り口に案内板もあります。為朝の打ち抜き岩の案内板は坪田の地区内にありますけれども、実際には離れて入っていく道のところにあります。実際見たほうがとても感動します。案内板ができれば、ハートというのは、女性を捉える大きな要素になっていきますので、ぜひお願いしたいと思えます。ひょうたん山の南側、新東京百景になっています。木や草が生えたりして、整備していただいて、行けるようにし

てもらいたいのです。

伊ヶ谷に、通称バームクーヘンといつて地層が見えるところがあります。地層がかなり見えて、バームクーヘンみたいになっています。観光の目玉にしていたければと思います。

粟辺の浜にあります柱状節理、行ってみれば感動します。大きくはないですが、柱状節理は福井県の東尋坊が有名です。高千穂でよく船に乗って見るシーンがあると思いますが、直接触れる所って少ないんです。

大路池に戻りますが、大路池に行く人が最近本当に少なくなりました。観光バスも行かないこともあるとは思いますが、宣伝不足だと思います。それから日本一のスタジ

イ、看板も一つもありません。日本一だとうたっていながら、何もないんです。ぜひお願いしたいと思えます。数年前に大路池を眼下に見える展望台を造ってくれました。今の状況は草ぼうぼう、立つても見えません。

私は具体的な例を言いたいたいんですが、時間的にもかかると思いますが、まとめまして、これについてはこうしよう、これについてはできない

からこうだとか、待つてくれとか、後ほど打合せさせていただきます。令和6年の8月16日、フリーライターの不破さんが書いております。「東京の離島」と「石垣島や宮古島」で分かれた明暗という記事です。観光資源に差はないと書いてあります。伊豆諸島で観光客が最も多いのは大島、これは2022年のデータで、14万6000人、八丈島で7万4000人、同年の石垣島9万8000人、宮古島8万5000人です。何でこんな差ができたか、4条件の宣伝と、知名度が高くないということです。要するに何も宣伝してないということですが、最後の結論で書いてありました。特に日本の若者における認知度が低いという結論であります。私、船でよく往復しますが、乗客の中では若い人が増えているなどという印象を得ています。7割以上が八丈に行つて、三宅島には大体約3割ぐらい



ただいま、いろいろなご提
言をいただいたというところ
でございます。

また、テールサンゴの状況につきましては、村のほうでも情報は把握しておりますが、気象庁のほうでも8月に黒潮大蛇行終息というお話もあったものですから、その辺、状況を注視してまいりたいと思っております。

また、村有施設の維持管理というお話もいただきましたので、そういった部分につきましては適正に管理をさせていただきたいと思っております。

また、神事芸能ですとか、自然環境、また貴重な植生等、さまざまな観光資源も踏まえまして、さらに効果的な情報発信やエコツアーの効果的な組合せによるツアーの創設等、関係機関と協議しながら進めてまいりたいと考えております。

議員



問 特色があり、魅力のある学校づくりについて

第6次三宅村総合計画の基
本施策の中で「魅力ある学校
づくり」で「島の未来を担う
人材育成のため、一体型小中
一貫校への移行を検討し、特
色ある教育を推進します」と
書かれています。

村長も令和6年第4回三宅村議会定例会の答弁で「人材育成のため、一体型小中一貫校への移行を検討し特色ある教育を目指し進めていきたい」と述べていました。

学校教育は重要であり、早急に取り組まなければいけない課題です。教育の改善を目指し、小中一貫教育は大変よい方針だと思います。

村長はどのような気持ちで目標達成に向けて取り組んでいるのか伺いたします。

第6次三宅村総合計画の基本計画では、基本施策「魅力ある学校づくり」において、一体型小中一貫校への移行を検討し、特色ある教育を推進していくとしております。一体型小中一貫校においては、義務教育9年間を連続した教育課程として捉え、児童・生徒、地域の実情を踏まえ、具体的な取組内容の質を高めることが大きな狙いとなっております。

本村の取組といたしましては、本総合計画の前期にはコミュニティ・スクールの設置を行い、地域とともにある学校づくりに取り組むことをいたしました。

そして計画期間後期、令和11年度から、小中連携教育などの教育体制の在り方、校舎、施設の整備について調査研究を進めてまいりたいと考えております。



再
今お答えいただいた小中
一貫教育というのは、課

長もご存じでしょうが、小中一貫型小学校中学校であつて、いま課長の言われた義務教育学校ですよ、9年を通じてと言いましたが、三宅村としてはどちらをを目指すのか、小中一貫型小学校中学校というのは、別々な小学校、中学校があつて、それで教育をやつてくという形ですよ。そして、義務教育学校と云うのは、一つの学校で校長先生一人、あと教員組織が一つということですが、どちらを目指すのか、もう一度確認します。

今後の教育体制の在り方ということかと思いますが、
も、今議員おっしゃられたことも含めて、後期計画の中で検討を、調査研究していくということになります。

再
どちらを目指すというこ
とを検討していたのだい

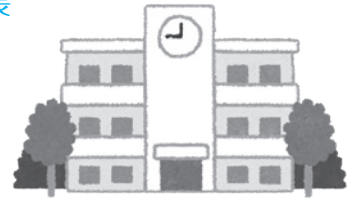
て、教育は子供たちを育てる上で、人間形成と、人材育成ですごく大切なものだと思います。島として第1目標として取り組んでいくべきだなと思います。経済の発展や観光産業も大事なことです。経済や観光産業を支えるのも人

なんです。人を育てるということが一番大事なことで、と思っています。教育立島と掲げている三宅島が一生懸命やっていたのだと思います。

最後に、小中一貫教育とございましたが、高校も含めて小中高が一貫として行っていく方向に進んでいただけば、すごく特色のある三宅島になると思います。現在、東京都では、立川国際小中高を運営しています。東京都のほうに働きかけていただき、島では小中高と連携を取り、一体でやっていく教育方針で12年間教育ができて、そして、高等学校もだんだんと生徒が減ってきています。その減っていくことに歯止めをかけないと、三宅高校の存続にも影響していきます。その辺も考えていかなければいけないと思います。ぜひ、東京都と村長が力を入れていただいて、一貫教育ということを重視していただきたいと思います。

村長はどのような考えをお持ちか、最後にお聞きします。





答 教育長

私から、小中高一貫教育に関してお答えさせていただきます。

三宅村では特色ある教育という観点から、昭和49年当時から小中高一貫教育に取り組み、都立三宅高等学校との連携も古くから深めています。

三宅の子供たちにとって、保育園から高校まで連携した形で教育ができることは大変重要なことであると私も認識しております。今後、さらに小中と、そしてまた高との連携を深めてまいりたいと考えております。

なお、今の三宅高校の生徒数減少関係ですが、設置者が東京都ではありますが、私も大変重要な課題であると認識しております。そのため、高校とも現在、さまざまな場面で意見交換をしていると同時に、東京都にも依頼をしているところですので、今後とも、島民にとって大変貴重な資源でありますので、高校の問題に

については引き続き対応してまいりたいと考えております。

答 村長

村の考え方といたしましては、教育課長、教育長の答弁のとおりでございます。

変化の激しいこれからの社会を生きる三宅島の子供たちに必要なことは、未来の学びの土台を築くための基礎学力の向上に加え、自立した1人の人間として力強く生きていくための人間力や、課題が起きている原因を見つけた上で解決に導く課題解決力、そしてふるさと三宅島を愛する心と誇りに思う気持ちであると考えております。

私たちが持続可能な村づくりを行っていくためにも、将来的に社会で活躍できる人材、また、その中で、いつの日かふるさと三宅島に帰り、島の未来を牽引するような人材を育む思いで、小中連携教育などの教育体制の在り方を含めて調査研究を進め、三宅島の特色を生かした学校づくりを目指してまいりたいと考えております。



北川 博史 議員



問 老朽化した建物について

令和5年第2回定例会において質問させていただきましたが、その後2年が経過し、変化等が見られないため再度質問させていただきます。

近年、全国各地で地震が多発しており、南海トラフや、線状降水帯の影響で観測史上最大級の大雨、そして先月の津波など以前では考えられないようなことが全国各地で起こっています。また、三宅では幸いにも被害はないが、海水温の上昇に伴い、今後も台風が多発するとのこと、その台風もニュースでは観測史上最大やそれに匹敵する大型などという声を耳にするようになってきました。

このことから、天災はいづれ来るか分からない、日頃から備えようと言われ、防災マ

ップなどを作り、住民の安心できる暮らしづくりに尽力されているとは思いますが、島を回ってみると屋根を補強している建物や、コンパネ等で壁を補強して維持している建物、柱のみで屋根は崩れ、倒壊寸前の建物が存在しています。また、村が所有している建物も老朽化が目立ち限界にあると思います。把握されているとは思いますが、一度調査等をしていただき、安全面などの注意喚起が必要だと思いますが、行政としての見解を伺います。

答 企画財政課長

空き家につきましては、個人の資産となりますことから、老朽化した家屋の管理は、原則として所有者や管理者に行っていただくものと認識しております。

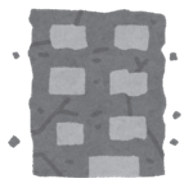
村といたしましては、建物等への被害が予想される地震災害や、台風シーズンなど、日頃の備えとして、防災面の観点からも、引き続き広報において注意喚起を図ってまいります。

また、公共施設につきましては、2000年の噴火災害後、帰島時において耐震調査を実施し、その調査結果に基づき使用の可否を決定しており、三宅村公共施設等総合管理計画を策定し、休止中の施

設につきましては、跡地利用の事業に合せて順次解体を行っているところでございます。また、ふだんから所管課において施設管理を行い、必要に応じて修繕や大規模改修を実施し、安全面の確保にも努めているところでございます。引き続き、適正な施設管理に努めてまいります。

再

前回の回答同様、空き家については個人資産になるということで、原則として所有者、管理者に行っていた、そのことから総務課と協力し広報等により喚起を図っていくとあったと思います。また、公共の施設に関しても所管管轄に点検及び対策を行い、安全面の確保に努め、そして、再調査等を実施し、館内で協議を行っていくと、当時の企画財政課長からは使用していない公共施設について、施設の状態に優先順位をつけながら財源確保など総合的に判断をした上で、今後の取り扱いについて検討していくとあったと思います。今の回答となったわけですが、長い間使用されていない建物の解体は、安全面や景観から見てもよかったと思います。これ



からも、再度引き続き判断等を行っていただければと思います。

また、空き家につきましても、今後も維持や解体等を含めて、島では実施されていないと思いますが、東京都では補助金や助成金の仕組みなどいろいろ選択肢もあるかと思いますが、その際には住民への丁寧な対応をしていただければと思いますが、いかがでしょうか。

答 企画財政課長

空き家の対策ということでございます。

三宅村で行っている空き家対策事業に関しては、数年空き家になっていくところを貸し借りしていただいて、新たな方が住まれるというところにしまして、中の家財の撤去費用、また暮らしていくに当たって住居の改修、そちらに補助を出しているところでございます。

ご質問にありました解体に関しましては、村として予算化している事業はございません。東京都のほうでそういう補助があるということ、私のほうでもちよつと調べてみたいと思いますので、今後そういう情報がありましたら、住民に周知してまいりたいというふうに思います。

曾我部 宏一

議員



問 一般質問事項の対応について

令和7年度も下半期に入り、各定例議会ごとに一般質問を行っております。その後の結果がなかなか見えてこない中で、協議内容、現状と実施時期について具体的にお伺いいたします。

まず、三池・沖ヶ平地区の掲示板の設置について、三池地区については設置され、沖ヶ平の掲示板は、当初予算で50万円計上し、いまだに設置する状況が見受けられません。どのような状況か、お伺いします。

答 総務課長

三宅村役場本庁前の掲示板については、住民の方が利用しやすい海側に設置するように調整中で、11月末までには完了するよう進めてまいります。

再

次に、阿古地区村道釜庭3号線の災害時における看板設置について、本村道は山側から海側に一方通行で、担当課長と話した際に阿古の自治協議会から要望書等をいただいている。警察の許可が下りるのは時間がかかり、災害時のみ一方通行解除の看板を立てるように依頼しました。その後、どうなったか、お伺いします。

答 総務課長

村道釜庭3号線の災害時における看板設置については、看板の設置自体は可能ですが、観光客などが目にして海側から進入した場合、狭い道で身動きが取れなくなり、道を塞ぐ可能性もあることから、かえって看板が逆効果になってしまいうおそれがあり、都道を直行している車両の災害時の避難は、都道のほうが安全に避難できるのではないかと考えております。そのため、看板は設置せず、村道釜庭3号線沿線の方に個別に案内してまいりたいと考えております。

再

この質問をした趣旨は、津波を仮定して質問させていただいたことであって、村道釜庭3号線については、地域住民の人たちが交通ル

ルを重んじたりしているのが村道の管理者である村から周知していただけるか、お伺いします。

答 総務課長

議員ご提言のとおり、地域住民の方々につきましては一方通行の解除がなされるまでの間、災害時に命を守る行動をとっていただくという形での利用をご案内してまいりたいと考えております。

再

次に、坪田分団周辺の防火水槽の設置についてお聞きします。

坪田分団詰所が2年前に新築され、その際に周辺に防火水槽がなく、当時の消防長に用地を含め、設置できるか一般質問しましたが、当時は適地を見つけてという答弁をいただきました。その後、どうなったか、お伺いします。

答 消防長

坪田地区内の新たな防火水槽の設置について、第6次三宅村総合計画では令和9年度で設置するよう計画しております。防火水槽の整備に際しては、国の消防防災施設等整備補助を活用できるように令和8年度で要望し、設置基準に基づき坪田地区内の都道沿いのより効果的な場所に設置

する予定で進めております。

再 現在、消防本部のほうで坪田分団詰所周辺に防火水槽の適地として候補地があるのか、お伺いします。

答 消防長

考えといたしましては、個人の土地というのは今後貸し借り等今までしていたんですけれども、相手の方が結構お亡くなりになって、また分かんなくなってしまうたりするので、公的なところの土地、要するに消防詰所の近く、消防の詰所が一番いいんですけれども、そこが建てられればそのスペース内で設置したいと考えております。

問 三池浜海水浴場の遊泳エリアについて

三池浜海水浴場の入り口に公衆トイレの設置ができるか質問しました。土地の問題等もあつてすぐにはというような答弁でした。そこで、私から三宅支庁で造った三池浜園地のトイレを活用するため、遊泳エリアをサタドー側に移せば、村単独で公衆トイレを造らなくてもいいのではとお話しさせていただいた際に、当時の担当課長はライフセーバー側と協議すれば遊泳エリアを移動することは可能という答弁かと思えます。去



再 今、担当課長から災害時津波等の避難という言葉が出ましたが、実際現地へは行っていますか。

答 観光産業課長

現地のほうには行かせていただいて写真等も撮影させていただきました。

再 サタドー方面に移すと、スロープの避難路があるんです。

答 観光産業課長

年、今年にも遊泳エリアが改善されません。協議内容と遊泳エリアを移すことができなかったのか、お伺いします。

答 観光産業課長

三池浜公衆トイレの撤去に伴い、既存の三池園地のトイレを利用いただくことで利用者の利便性の向上を図るべく遊泳エリアを神着側への移動を検討したところですが、事故等が発生した際の緊急車両のアクセスや津波警報発令時の避難時間等を考慮し遊泳エリアの移動はいたしませんでした。

公衆トイレにつきましては、利用者の安全確保を優先する観点から現状での利用となりますが、安全性と利便性の向上について今後も研究してまいりたいと思います。

再 海水浴場に来た観光客の人たちがトイレが遠いということでご不便を感じているというのがこの質問の発端であって、村として三池浜入り口に新たにトイレを造っていただく考えがあるのか。要は観光客の利便性を図るためにどのような対応をしていくのか教えてください。

答 観光産業課長

観光客の利便性の確保という部分と安全性の確保と両面から検討させていただいて、緊急車両のアクセスまた津波発生時等の避難を勘案して今回は現在の場所で行実施をさせていただいたところでございます。

再 村長にお伺いします。この件について、私は都の園地のトイレを活用しながら観光客の利便性を図ったという主旨でお話ししましたが、村長はこのトイレについてどのように考えているのかお聞かせください。

答 村長

村のほうでトイレを建築するというのは非常に財源的にも難しいのかなというところなんです。私どももこのご質問いただいてから内部で協議してきたところですが、園地にあ

るトイレを利用させていただくために海岸から園地に直接行ければそこは一番改善になるのかなという考え方もあると思うんですね。そこを村だけでは決定できないところもありますので、他の関係機関にもご意見を頂戴して安全性と利便性を考えて解決していきたいと考えております。

問 行政業務の一部外部委託について

本年10月から職員数の減少に伴い神着、坪田出張所の窓口受付業務時間の変更され、地域住民に対しての行政サービスが低下しないか不安を感じます。

現在、職員定数における充足率と今後島外からの人材確保が困難であれば行政業務の一部島内の金融機関や行政出身の皆さまの知識、経験を得ながら行政サービスの向上を図ることができないか。例えば、村税徴収業務や漏水管理業務などを外部委託して職員の業務過多を軽減すべく、充足率に達していない現状を打破する考えがあるかお伺いします。

答 総務課長

まず、職員定数における充足率ですが86%となります。次に、行政サービスの向上への取り組みですが、職員研修

をはじめ東京都からの職員派遣による能力向上等に取り組んでいます。最後に、職員の業務過多を軽減するための委託ですが、既に実施しているものもございます。今後、職員の確保を最優先としつつ民間委託に委ねることが可能な業務をさらに把握、精査し効果的に推進することで職員の適切な配置、負担軽減に努めたいと考えております。

再 充足率が90%を割ってしまったというところで、年々この充足率が向上していかなければ、在籍する職員が過大な残業を強いられ、最悪は体を壊してしまい、業務に支障をきたす状況が続くと思うので、出せるものは出して、人事を担当する所管課として十分注意してやっていただけるか、お伺いします。

答 総務課長

職員が退職しない職場づくりも当然必要です。また、この欠員状況を何とか充足を上げていかなければやはり負のスパイラルに入っていくような状況でございますので、外部委託で出せるようなものにつきましては、改めて精査をしていきながら職員の業務の負担軽減等についても継続的に検討してまいりたいと思っております。

議長報告書

(令和7年5月28日) (令和7年8月26日)

1. 出張関係

令和7年7月14日(月)

●東京都町村会・東京都町村議会議長会合同会議出席(港区)

令和7年7月15日(火)

●三宅正彦東京都議会議員表敬訪問(新宿区)

令和7年7月17日(木)

●令和7年東京都島しょ町村議会議長会第1回臨時総会(港区)

令和7年7月17日(木)、18日(金)

●全国離島振興市町村議会議長会令和7年度第1回総会等出席(千代田区)

令和7年7月26日(土)、27日(日)

●愛さんどリーグ2025出席(八丈町)

2. 会議関係

令和7年6月23日(月)

●第59回全国過疎地域連盟

令和7年第1回総会(書面開催)

3. 行事等・来島者関係

令和7年6月1日(日)

●三宅小中合同運動会出席

令和7年6月18日(水)

●三宅村シルバー人材センター

令和7年度定時社員総会出席

令和7年8月4日(月)

●富賀神社大祭出席



編集後記

夏の酷暑が過ぎ去り、散歩をしていると道端の明日葉が元氣よく新芽を伸ばしています。

10月には台風22号と23号が八丈島と青ヶ島に大きな被害を与えました。三宅島は大きな被害を逃れましたが台風の進路によっては大被害になる恐れがあります。近年の台風は超大型化していますので、嚴重な対応が必要だと実感しています。私たち三宅島でもしっかりと対応していかなければなりませんね。

さて、サッカーでは10月14日に日本代表がブラジル代表に14度目の対戦で初めて勝利を挙げました。米大リーグでは大谷選手や山本選手、佐々木選手の活躍でドジャースが優勝しました。

世界で日本が注目される礎が強固なものになってきており、心がウキウキしてきます。

日本の政治は初の女性総理大臣である高市総理大臣が就任し、日経平均株価も5万円台を軽く突破しました。

これからの日本が世界に向けてさまざまな面で発信し、活躍し、リーダーシップを発揮して行くことを強く願っています。

これから寒さが厳しくなってきます。インフルエンザや新型コロナウイルスがますます流行してきますので、感染対策をしっかり行い、免疫力を高めて健康維持に努めていきましょう。

議会だより編集委員長 高松 秀直

フォト ギャラリー



第26回三宅島産業祭（テープカット）



第26回三宅島産業祭（宝船展示）

- フォトギャラリーコーナーに掲載する村民の皆さまの身近な写真をお待ちしております。詳細につきましては議会事務局にお問い合わせください。

お問い合わせ先

発 行：三宅村議会
住 所：東京都三宅島三宅村阿古497番地
電 話：04994-5-0956
担 当：議会事務局